

書き初め大会



1月9日、13日に書き初め大会を行いました。子どもたちはこれまでの練習の成果を発揮しようと、静かな雰囲気の中で一文字一文字に心を込めて筆を運びました。姿勢を正し、集中して書き初め用紙に向かう表情からは、「よい作品を書きたい」という思いが伝わってきました。

書き終えた後には友達と作品を見合い、「はらいがきれい」「字の形がそろっているね」とよさを認め合う姿も見られました。書き初め大会は、文字を書く技術だけでなく、心を落ち着かせて物事に向き合う大切さを感じる機会となっています。一人ひとりの成長が感じられる時間となりました。



道徳地区公開講座

1月17日(土)、1校時に全学級で道徳の授業公開を行い、2校時には保護者対象の講演会を実施しました。当日は、多くの保護者・地域の皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。道徳の授業では、思いやりや友情、よりよい人間関係について考える学習を行いました。児童は登場人物の行動や心情について自分の経験と重ねながら考え、「自分だったらどうするか」「相手はどんな気持ちだったのか」といった問いに向き合い、グループや全体で意見を交流しました。友達の考えにうなずいたり、新たな視点に驚いたりしながら、真剣に話を聞く姿が印象的でした。授業の終盤には、これまでの自分の言動を振り返り、これからの学校生活で大切にしたいことをノートに書く姿も見られ、学びを自分事として捉えている様子が伝わってきました。

2校時の講演会では、区民ひろばで活動されているNPO法人「はばたけ千早」語り部部会の皆様をお迎えし、『今を生きる』という手書き紙芝居をご紹介いただきました。人権尊重教育推進校としての取組の締めくくりとして、戦争と平和について、保護者の皆様とともに考える貴重な時間となりました。アンケートでもこの講演会で平和について考えさせられたとの声もいただきました。また、引き渡し訓練にも多数参加していただきありがとうございました。

なわとび月間

なわとび月間では、中休みに全校で短なわ跳び、長なわ跳びに取り組みました。

短なわ跳びでは、新しい跳び方や、跳べる回数を増やすことに挑戦しました。友達同士で、できるようになった技を見せ合ったり、どちらが長く跳べるかを競い合ったりする姿がたくさん見られました。

長なわ跳びでは、縄への入り方、跳ぶタイミングなどをお互いに教え合いながら、記録を伸ばせるように一生懸命練習しました。日々記録が伸びていく喜びや達成感を味わい、楽しく運動することができました。

これからも、なわ跳び運動に楽しく取り組みながら、丈夫な身体をつくってほしいと思います。

